

日本医用画像工学会 2010年度総会 議事録

会 期：2010年7月30日（金） 13:05～14:05

会 場：東海大学 伊勢原キャンパス 1号館 2F 講義室 A（A会場）

出席者：出席 50名 委任状 47名

- 議 事：1. 赤塚会長より開会のご挨拶があった。
2. 出席 50名、委任状 47名の合計 97名で総会が成立することが確認された。
 3. 恒例により異議なく赤塚会長に議長が一任される事が確認された。
 4. 審議事項（添付の幹事会および総会資料参照）
 - (1) 赤塚会長より学会の運営状況について報告がされ、承認された。
 - (2) 2009年度事業報告および2010年度事業計画
 - 1) 大会関係について斉藤担当常任幹事より報告され、承認された。
 - 2) 学術・渉外について羽石担当常任幹事より報告され、承認された。
 - 3) 編集委員会について周藤委員長より報告され、承認された。
 - 4) 広報委員会について安藤委員長より報告され、承認された。
 - 5) CAD委員会について長谷川集委員長より報告され、承認された。
 - 6) 新事業関係について本間担当常任幹事および尾川担当常任幹事より報告され、承認された。
 - (3) 2009年度決算報告
 - 1) 2009年度決算報告について細羽担当常任幹事より報告され、承認された。
 - 2) 2009年度決算報告会計監査報告について掛川監事より報告され、承認された。
 - (4) 2010年度予算案について細羽担当常任幹事より報告され、承認された。
 - (5) 役員人事の改訂について斉藤担当常任幹事より報告され、承認された。
 3. 2009年度 MIT 誌「論文賞」・第28回大会「大会奨励賞」の授賞式が行われた。
 4. 第30回大会の勝俣大会長よりご挨拶があった。
 5. 赤塚会長より閉会のご挨拶があった。

以上

学会の運営状況について

- ◆ 現在の学会運営状況
 - ・会員 一般会員:微減, 学生:昨年度並み
 - ・経済不況の影響 → 広告費減減, 賛助会員減少
 - ・電子コミュニケーションの活用 ← NL, 会誌電子化, Mail広報
- ◆ 会誌のWeb出版開始
 - ・J-Stage利用 ・会員psw設定 ・2年経過で完全公開
 - ・動画等引用付録導入 ・合本印刷サービス(ほぼ実費)
- ◆ 一層存在価値のある交流の場
 - ・新規事業開始 ハンドブック出版, 研究会公募
 - ・会員の積極的な運営参加, 関連領域との交流増進 等々

事業報告および事業計画:大会関係

- ◆ **2009年度報告**
第28回大会を、長谷川純一大会長(中京大学)のもとに、中京大学名古屋キャンパスで開催した。(2009年8月4日・5日)
(総参加者数254名/総演題数101演題)
- ◆ **2010年度計画**
第29回大会を、今井裕大会長(東海大学)のもとに、東海大学伊勢原キャンパスにて開催する。
(2010年7月30日・31日)

事業報告および事業計画:学術・渉外 連合フォーラム活動等

2009年度活動報告

JAMIT Frontier 2010を那覇市で開催した。本大会はJAMIT, 電子情報通信学会 医用画像研究会(信学会MI研), 医用画像情報学会(MII)が参画して、メディカルイメージング連合フォーラムとして共同開催した。

期日:2010年1月28日(木)・29日(金) 場所:那覇市ぶんかテンプス館
演題数:87件(特別招待講演7, パネル討論1, 口演24, ポスター55)
参加者数:達へ204人

2010年度活動計画

1. International Forum on Medical Imaging in Asia(IFMIA) 2011を、JAMIT, 信学会MI研, MIIおよび台湾, 韓国の学会との共同開催の国際会議として、那覇市で開催する。
期日:2011年1月18日(火) 場所:那覇市ぶんかテンプス館
2. JAMIT Frontier2011(JAMIT, MI研, MII共同開催のメディカルイメージング連合フォーラム)をIFMIA2011に引き続いて那覇市で開催する。
期日:2011年1月19日(水)・20日(木) 場所:那覇市ぶんかテンプス館

活動報告および活動予定:編集委員会1/3

2009年度活動報告

1. 論文誌の発行
Vol.27 No.3,4,5 Vol.28 No.1,2の5冊
内訳:2009年度 特集論文23/研究論文16/研究速報2/技術報告0/41計(投稿総数43件)
参考:2008年度 特集論文26/研究論文16/研究速報1/技術報告1/44計(投稿総数40件)
2. 査読付き大会論文制度の継続
昨年と同様、査読付き大会論文制度を継続実施し、27件の投稿があった。(前年度23件)。
これらの論文は、Vol.28 No.4,5に掲載し、No.4はJAMIT大会関連特集号とする予定である。
3. 論文賞の選考
下記論文に決定し、常任幹事会において推薦した。
論文名:交差プロファイル法による4D-MRIの構築(俣田喜正他)
4. MIT誌の完全電子化検討
完全電子化方式を検討し、J-STAGEへの移行を推奨した。
5. 特集企画検討Gの創設
5グループ(イメージング, 解析・可視化, 英文, マルチメディア, 潜在ニーズ), 取りまとめ:
特集担当副委員長。

活動報告および活動予定:編集委員会2/3

2010年度活動予定

1. 円滑なJ-STAGEへの移行
2010年9月号から移行、それまでに投稿規程の変更など、学会ホームページなどで逐次掲載予定、2011年より電子投稿審査システムとの連携稼働予定
- 詳細はMIT誌5月号(Vol.28, No.3)
2. 特集企画検討Gの活動
5つのグループ活動による特集企画が2011年3月号(Vol.29, No.2)より逐次掲載予定。
原則公募特集(査読付)とする
3. 投稿増対策
類似他学会への投稿の呼びかけなどにより、英文論文などの投稿論文を増やす。
4. 電子化によるMIT誌の充実
①高精細・多次元の動画の閲覧サービス
J-STAGEの「電子付録」の機能により、高精細多次元動画の閲覧を可能とする。
②Impact Factorへの足がかり
J-STAGEの外部サイト・リンク機能、英文論文の引用実績など

活動報告および活動予定:編集委員会3/3

J-STAGEへの移行計画

- (1) J-STAGE用投稿規程の公開・・・2010年8月
ホームページ等で広報
- (2) J-STAGEテスト公開・・・2010年8～9月
Vol. 28, No. 3, 8論文・記事の公開
- (3) J-STAGEへの移行・・・2010年9月
Vol. 28, No. 4, 査読付き論文特集(完全電子化)
- (4) 「電子付録」による動画特集・・・2010年11月
Vol. 28, No. 5を予定
- (5) 電子投稿審査システムとの連動開始・・・2011年1月以降
Vol. 29, No. 1以降を予定



活動報告および活動計画: 広報委員会 1/5

2009年度事業報告

- ・ メールマガジンの発行
(2009.7~2010.6 62通)
- ・ ホームページの整備 (<http://www.jamit.jp>)
- ・ eNews Letter
[No.5 2010年04月 通算No.59](#)
[No.4 2009年12月 通算No.58](#)
[No.3 2009年07月 通算No.57](#)

活動報告および活動計画: 広報委員会 2/5

- ・ eNews Letter No.3 2009年07月 通算No.57

日本医用画像工学会(JAMIT)のあゆみ 1986年頃から1994年頃にかけて
今里 悠一(元常任幹事、元編集委員会副編集委員長、元東芝医用機器事業部) ……2

技術交流の輪① 認識
核非線形相互部分空間法によるパターン認識
坂野 鋭(株式会社NTTコミュニケーション科学基礎研究所) ……5
技術交流の輪② 非剛体レジストレーション
胸部の非剛体レジストレーション 羽石 秀昭(千葉大学) ……7

JAMITのひろば
東芝X線循環器診断システムの高画質化 -PureBrainTMの画像処理技術
佐藤 直高(東芝メディカルシステムズ株式会社) ……9

お知らせ CADM コンテスト→CAD コンテスト@JAMIT 大会
清水 昭伸(東京農工大学大学院共生科学技術研究院) ……11

活動報告および活動計画: 広報委員会 3/5

- ・ eNews Letter No.4 2009年12月 通算No.58

特集「JAMIT コンテスト報告」
第1回 JAMIT CAD コンテスト結果報告 北坂 幸幸(愛知工業大学情報科学部) ……3

特集「新幹事就任ご挨拶」
北村 圭司((株)島津製作所 基礎技術研究所 分子イメージングユニット) ……9
木戸 尚治(山口大学大学院医学系研究科応用医工学系学域) ……10
工藤 博幸(筑波大学大学院システム情報工学研究科CS専攻) ……12
富樫 かつり(京都大学医学部放射線医学講座(核医学・画像診断学)教授) ……14
増谷 佳孝(東京大学医学部付属病院放射線科) ……15
目加田 慶人(中京大学情報理工学部) ……16

JAMITのあゆみ(前篇:1994~1998)
辻内 順平(東京工業大学名誉教授) ……17

活動報告および活動計画: 広報委員会 4/5

- ・ eNews Letter No.5 2010年04月 通算No.59

特集「JAMITFRONTIER 後記」 羽石 秀昭(千葉大学) ……2

第29回日本医用画像工学会開催に向けて 今井 裕(東海大画像診断学) ……4

特集「新幹事就任ご挨拶」
森 健策(名古屋大学情報連携統括本部情報戦略室・教授) ……6

JAMITのあゆみ(後篇:1998~2002)
辻内 順平(東京工業大学名誉教授) ……8

技術交流の輪② 非剛体レジストレーション
丸山 克也(シーメンス旭メディテック株式会社) ……10

技術交流の輪③ 標準脳
権 一平太(食品総合研究所)、瀬木 大介(食品総合研究所、筑波大学大学院
システム情報工学研究科、日本学術振興会) ……12

技術交流の輪④ 標準脳 内田 佳孝(千葉大学医学部放射線科) ……14

お知らせ: 医用画像データベース
清水 昭伸(東京農工大学大学院共生科学技術研究院) ……17

活動報告および活動計画: 広報委員会 5/5

◆ 2010年度事業計画

- ・ 電子ジャーナルとの連携(ホームページの整備)
- ・ メールマガジンの発行
 - ◆ No.8 2011年04月 通算No.62
 - ◆ No.7 2010年12月 通算No.61
 - ◆ No.6 2010年07月 通算No.60
- ・ ホームページの整備
- ・ ストリーミング・サーバーの整備
JAMIT2010の特別講演、シンポジウムなどの掲載
- ・ ニュースレターの発行

活動報告および活動計画: CAD委員会

◆ 2009年度活動報告

- ・ CADM史編集委員会(10/2)の開催
- ・ 第28回大会(8/4, 5)へのCAD関係企画協力
- ・ CADコンテスト(8/3)と公開審査の実施
- ・ CAD勉強会(5/30, 10/3, 3/6)の実施
- ・ 画像データベースの販売促進と窓口対応

◆ 2010年度活動計画

- ・ CADM史の発行(9月予定)
- ・ CADコンテストと公開審査の実施(第29回大会にて)
- ・ CAD勉強会(5/29, 他2回)の実施
- ・ 画像データベースの販売促進と新規開発
- ・ 他学会・研究会との共同企画

活動計画:新事業関係 1/3

医用画像工学ハンドブックの改訂(中間報告)

発刊目標:2010年度中
 発行:日本医用画像工学会
 冊子の形態:B5版 800頁 15000円(会員価格10000円)
 特徴:二部構成 ①イメージング編、②CAD編

現在、50名弱の担当者により執筆中。8月下旬執筆〆切。
 その後、編集委員により、内容の吟味や重複、過不足項目の
 チェック、語句の整合性、インデックス作成作業などを開始。
 2011年3月には発刊したい。

編集委員会 委員長:尾川、副委員長:工藤、清水
 委員:湯浅、佐藤、増谷、森

活動計画:新事業関係 2/3

研究会の設置

医用画像工学に関連する学術や医療機器産業の発展、開発技術の迅速な
 臨床利用などに資する研究会を設置できるものとする。

- 設置の条件
異なる機関に所属する正会員5名以上をもって構成する。
- 設置の公募
原則4月1日から6月30日とする。緊急を要する案件等は、適宜、受付ける。
(学会ホームページや学会誌にて公募)
- 設置期間
研究会の設置期間は原則3年を限度とする。(總會の翌日から翌年の總會まで1年)
- 予算
学会から年間で原則10万円を支給。提案に際しては、申請書を提出する。
- 審査
常任幹事会で審査し、決定する。
- 成果の報告
本学会大会にて発表や本学会誌への論文投稿を義務とする。

活動計画:新事業関係 3/3

教育委員会

医用画像工学に関する体系的な教育の機会を若手学会員
 に提供するイベントを企画・実施する。

- ◆ 網羅的な知識の習得よりも、「イメージングの物理」「画像再構成・認識の数理」「臨床画像医学の基礎」など、より普遍的・基礎的な知識の習得を目指す。
- ◆ 現段階では、チュートリアルとして、2011年よりJAMIT年次大会の前日の1日をかけて実施することを計画している。2年で医用画像工学の一貫した内容を習得できるような構成とする。また、サマースクールとして、特定の話題に焦点をあてたイベントの開催も検討する。

委員会組織
 委員長:佐藤(阪大)、副委員長:木村(放医研)、清水(農工大)
 委員:木戸(山口大)、北村(島津)、中口(千葉大)、湯浅(山形大)

**日本医用画像工学会
 2009年度収支計算書(案)**

H22-7-2

2009年4月1日から2010年3月31日まで

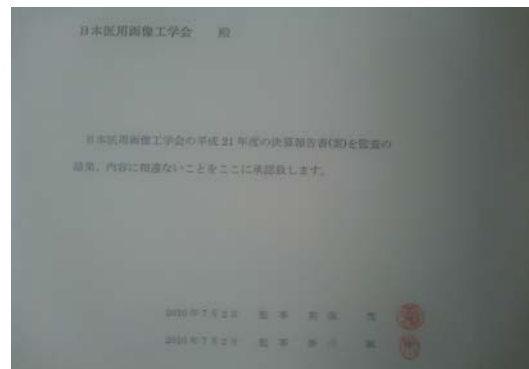
Ⅰ. 収入の部 (単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 正会員費	3,360,000	3,394,000	34,000	#1,000x16 入会金 #8,000x422.25 年費
2. 学生会員費	300,000	333,000	33,000	#3,000x111
3. 賛助会員費	1,600,000	1,600,000	0	#80,000x20
4. 図書会員費	234,000	248,000	14,000	#13,000x16 大会印あり #8,000x5 大会印なし
5. 会誌広告料	350,000	350,000	0	
6. 会誌別刷代	2,500,000	2,157,810	△ 342,190	
7. CAD DB	400,000	475,000	75,000	
8. 大会事業収入	2,590,000	2,697,249	107,249	
9. 雑収入	100,000	169,112	69,112	
当期収入合計 (A)	11,434,000	11,424,171	△ 9,829	
前年度繰越金	4,113,532	4,113,532		
収入合計 (B)	15,547,532	15,537,703		

Ⅱ. 支出の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 会誌発行費 5回 27巻3.45号,28巻1.2号	8,000,000	7,597,084	△ 402,916	
2. 大会事業費 1回	3,273,000	2,994,416	△ 278,584	
3. 事業補助費	100,000	110,210	10,210	JAMITfrontier, 見学会
4. 広報関係費	800,000	673,140	△ 126,860	Web維持・動画配信整理・HP整理
5. CAD委員会関連費	100,000	0	△ 100,000	2008年度新設
6. 表彰費	100,000	88,410	△ 11,590	
7. 事務局費、事務経費	960,000	811,440	△ 148,560	
8. 備品・消耗品	50,000	32,522	△ 17,478	
9. 印刷費	100,000	57,890	△ 42,110	
10. 旅費交通費	600,000	734,200	134,200	
11. 会議費	200,000	147,833	△ 52,167	
12. 通信費	100,000	140,284	40,284	
13. 雑費	100,000	810	△ 99,190	
14. 予備費	1,064,532			
当期支出合計 (C)	15,547,532	13,388,239		
当期収支差額 (A-C)	△ 4,113,532	△ 1,964,068		
次期繰越収支差額 (B-C)	0	2,149,464		
支出合計	11,434,000	15,537,703		



H22-7-7

**日本医用画像工学会
2010年度予算(案)**
2010年4月1日から2011年3月31日まで

I. 収入の部 (単位:円)

科 目	10予 算 額	09予 算 額	備 考
1. 正会員費 #8,000X420名	3,360,000	3,360,000	
2. 学生会員費 #3,000X100名	300,000	300,000	
3. 賛助会員費 #80,000X20口	1,600,000	1,600,000	
4. 図書会員費 #13,000X18口	234,000	234,000	
5. 会誌広告料	350,000	350,000	
6. 会誌別刷代	1,000,000	2,500,000	
7. CAD DB	400,000	400,000	
8. 大会事業収入	4,386,000	2,590,000	
9. ハンドブック編集	3,300,000		医用画像工学ハンドブック
10. 雑収入	100,000	100,000	
当期収入合計 (A)	15,030,000	11,434,000	
前年度繰越金	2,149,464	4,113,532	
収入合計 (B)	17,179,464	15,547,532	

II. 支出の部 (単位:円)

科 目	10予 算 額	09予 算 額	備 考
1. 会誌発行費 5回 28巻3,4,5号,29巻1,2号	5,000,000	8,000,000	電子出版へ移行(1号のみ製本)
2. 大会事業費 1回	4,386,000	3,273,000	
3. 事業補助費	100,000	100,000	JAMITfrontier, 見学会
4. 広報関係費	800,000	800,000	1/77維持費・HP
5. CAD委員会関連費	100,000	100,000	
6. 表彰費	100,000	100,000	
7. 事務局費、事務諸経費	960,000	960,000	
8. 備品・消耗品	50,000	50,000	
9. 印刷費	100,000	100,000	
10. 旅費交通費	700,000	600,000	
11. 会議費	200,000	200,000	
12. 通信費	100,000	100,000	
13. ハンドブック販売	3,300,000		医用画像工学ハンドブック
14. 雑費	100,000	100,000	
15. 予備費	1,183,464	1,064,532	
当期支出合計 (C)	17,179,464	15,547,532	

2010年度 役員人事関係一覧 1/2 (2010年7月30日)

■ 退任
 常任幹事: 斎藤 清人(東芝メディカルシステムズ)
 幹 事: 今井 裕(東海大学)
 片田 和廣(藤田保健衛生大学)
 佐多 信吾(東芝メディカルシステムズ)

■ 新任
 常任幹事: 東木 裕介(東芝メディカルシステムズ)
 幹 事: 勝俣 健一郎(国際医療福祉大学)【次期大会長】
 森 雅樹(札幌厚生病院)
 湯浅 哲也(山形大学)
 杉本 直三(京都大学)
 原 武史(岐阜大学)
 北坂 孝幸(愛知工業大学)
 山谷 泰寛(放射線医学総合研究所)

■ 第30回JMAIT大会 大会長: 勝俣 健一郎(国際医療福祉大学)
 ■ JAMIT Frontier 2011 世話人: 羽石 秀昭(千葉大学)

2010年度 役員人事関係一覧 2/2 (2010年7月30日)

■ 任期満了後の再任
 副会長: 森山 紀之(国立がんセンター)
 長谷川 純一(中京大学)
 常任幹事: 本間 一弘(産業技術総合研究所)
 細羽 実(京都医療科学大学)
 尾川 浩一(法政大学)
 縄野 繁(国際医療福祉大学)
 羽石 秀昭(千葉大学)
 片山 昭宏(キヤノン)
 監 事: 英保 茂(京都情報大学院大学)
 幹 事: 木村 文子(埼玉医科大学)
 渡 小太郎(奈良先端科学大学院大学)
 佐藤 嘉伸(大阪大学)
 福田 国彦(東京慈恵会医科大学)
 吉村 仁(コニカミノルタエムジー)
 清水 昭伸(東京農工大学)
 山本 裕(横河医療ソリューションズ)

**2009年度
MIT誌「論文賞」受賞者**

論文名:
交差プロフィール法による胸部4D-MRIの構築
 Vol.27, No.2

著者名: 梶田喜正*1), 藤淵俊*3), 羽石秀昭*4)

*1 千葉大学大学院融合科学研究科情報科学専攻知能情報コース
 *2 千葉大学医学部付属病院放射線部
 *3 筑波大学大学院人間総合科学研究科
 *4 千葉大学フロンティアメディカル工学研究開発センター

第28回大会「大会奨励賞」受賞者

演題番号	発表者	所属	タイトル
OP2-02	二村 幸孝	名古屋大学大学院 情報科学研究科	メディア科学専攻
局所濃淡補正係数に基づく線状走行方向を利用した血管領域強調			
OP2-03	濱田 大	神戸大学大学院 工学研究科 情報知能学専攻	
複数構造を含む階層的統計的統計モデルを用いた放射線造影3次元CT画像からの大腸管・骨盤領域の分離抽出			
OP3-03	根本 充寛	東京大学医学部附属病院	放射線科
体幹部FDG-PET/CT像からの皮膚病変検出処理に関する検討—円筒状標準SUVモデルを用いた皮膚病変の抽出—			
OP3-04	浅井 智也	岐阜大学大学院 医学系研究科 再生医学専攻	
体幹部FDG-PET画像における正常SUV分布モデルを用いた異常領域の自動評価法			
OP3-05	花岡 真平	東京大学大学院 医学系研究科 生体物理医学専攻	
体幹部CT画像における腫瘍動態のコンピュータ支援画像診断の初期検討			
OP4-01	渡辺 航	名古屋工業大学 工学部 情報工学科	
特徴点強調モデルに基づく曲面のレジストレーション			
OP4-05	野村 志平	東京農工大学大学院	
多時間の3次元CT画像のための位置合わせとセグメンテーションの同時処理			
OP6-03	藤 雄志	名古屋大学大学院 情報科学研究科	
SIFT Feature-based Motion Estimation for Bronchoscope Tracking			
P11	加納 隆雄	中京大学大学院 情報科学研究科 情報科学専攻	
腹部CT像からの肝臓血管自動抽出結果を用いた肝臓区域自動分割の試み			
P16	中国 耀久	名古屋大学大学院 情報科学研究科	
臓器存在尤度マップを用いた3次元CT像からの肺臓領域抽出手法の検討			
P28	宝珠山 祐亮	法政大学大学院 工学研究科	
SPECTにおける乱数補正法の比較			
P31	伊藤 寛明	東京大学大学院 医学系研究科 生体物理医学専攻	
拡散MRIに基づく確率的Tractographyにおける抽出パラメータの局所調整による改善の一手法			